

2022年度 JCI 北海道支部 コンクリートの日 in HOKKAIDO 見学会 実施報告書

実施日：2022年10月12日（水）

時間：12:30～18:00

見学場所：新稲穂トンネル R 側仁木工区工事

参加人数：22名（幹事2名含む）

1. 新稲穂トンネル R 側仁木工区工事概要と見学会参加状況

本工事は、「倶知安余市道路」のうち、仁木町銀山地区と協和町国富地区を結び、稲穂峠の山道を回避する新稲穂トンネルを施工する工事です。新稲穂トンネルは、上下線セパレート方式で NATM の両押しで掘削します。このうち、見学場所は、R 側の仁木工区でした。

工事概要は以下の通り。

工期 平成31年2月22日～令和5年3月20日

工事延長 L=3,410m（トンネル延長 L=1,693m）

掘削工 L=1,681m（NATM、発破・機械掘削）

発注者 国土交通省 北海道開発局 小樽開発建設部

受注者 西松・草別特定建設工事共同企業体

本見学会は、募集参加人員を20名とし、受付の段階での体温測定、手指消毒、座席配慮などの感染対策を徹底しました。当日の参加者は、参加者20名と幹事2名の22名でした。

2. 工事概要説明（現場工事事務所内会議室）

• 北海道開発局 倶知安余市道路 事業概要説明

現在、北海道開発局が進めている延長39.1kmの倶知安余市道路の事業について、全体概要、進捗状況および、当該工事の位置付け等について、説明を受けました。

説明者：北海道開発局 小樽開発建設部 小樽道路事務所 第三工務課長 三好 達夫様

• 新稲穂トンネル構造、工法説明

見学対象の工事について、工事概要に始まり、全体構造と掘削工法に関して、資料と動画を用いた説明を受けました。さらに、西松建設様の情報化・自動化への取組に関して、紹介されました。

説明者：新稲穂トンネル R 側仁木工区工事 新稲穂トンネル出張所 所長 小倉 仁志様
副所長 目崎 浩二様



三好課長と小倉所長



参加者受講状況

3. 工事現場見学

見学は、坑口から往復約2kmを参加者全員で移動し、職員から説明を受けました。小倉所長からは、「予定工程の作業を継続した状態を見学して頂きます」と前置きがあり、当日予定の現場作業が行われている中、見学が行われました。開発局の三好課長をはじめ、複数の職員が随行し、適宜、参加者の質問に答えてくれました。若い参加者が多く、職員のフレンドリーな雰囲気もあって、思いの外、多くの質問が出ているようでした。徒歩による往復移動で時間超過するのではないかと心配しておりましたが、全くの杞憂に終わりました。



坑口全景



見学状況



説明状況



見学状況



参加者集合写真

謝辞

見学会にご協力いただいた小樽開発建設部小樽道路事務所様、新稲穂トンネル R 側仁木工区工事 新稲穂トンネル出張所(西松建設)の皆様にはたいへんお世話になりました。おかげさまで大変有意義な見学会を開催することができ、参加者一同心より感謝申し上げます。

以上